

平成23年度協働事業として選定された事業の評価

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて												事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 画等な立場を進めたか	④ 尊重したか	⑤ 相互の自主性・自立性を	⑥ 十分に話し合い役割分担を	⑦ 進捗状況や事業に関する情	⑧ 進捗状況や修正したか	⑨ 取ったコミュニケーションを	⑩ 情報をわかりやすく公開し	⑪ お互いの信頼関係を築いた	⑫ きたか	⑬ 課題と改善策を話し合った	⑭ 平均点	
1	議会事務局	声の市議会だより作成委託	4月～2月	委	70	音訳ボランティアグループ 福生いとでんわ	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 4 3 5	4 4 4 3 3 3	3 3 5 4	4 4 4 4 3 4	4 4 4 5 5 4	5 4 5 4	4 4 5 4	3.9	備 考							
		協働理由	市民団体の特性を活かす。	事業の概要	年5回発行の市議会だよりの内容を音訳し、視覚障害者1.2級の登録者にデージー方式により音訳したCD版を送付し、議会情報の提供を行う。	課題	対象者が81名いるが、現在の利用者は13名であり利用者の拡大を図る必要がある。個人情報保護法の壁を越えて、市情報を障害者に届けるには、障害福祉課その他庁舎内他部課との横の連携を密にすることが必要。																			
2	総務課	平和祈念事業	4月～3月	実	237	平和のつどい企画委員会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 3 4 4	4 4 4 4 4 4	4 4 4 3	4 3 3 3 3 3	4 4 3 4 4 3	3.8	講演会243人参加									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	「市民が語る福生・語り継ぐ昭和」と題して、市民会館小ホールで実施。講演、座談会、演奏を行った。	課題	若年層の参加者が少ない。																			
3	国体推進室	国民体育大会開催準備事業	4月～3月	実・補	3,686	スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	委員数 104名								
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	平成25年に開催される国体に向けて設立した、「スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会」に補助金を交付し、効率的な開催準備を推進する。	課題																				
4	安全安心まちづくり課	安全安心まちづくり協議会	4月～3月	実	306	市民参加	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 4 5 5 4	5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 4 4 5 4 4	4.8	協議会の開催、年3回										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	安全安心まちづくりは、自らの安全は自らが守るという意識のもと、市、市民及び事業者の相互理解を図るとともに、それぞれが密接な連携を図りながら協働することで推進していく。	課題																				
5	安全安心まちづくり課	自主防犯パトロール	4月～3月	参	0	町会・自治会	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 5 4	4 4 5 4	3 4 3 3 4 3	5 4 3 5 4 3	3.9	登録者 1,055軒										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	地域の安全を守るため各町会・自治会での自主的なパトロールの実施	課題	全町会・自治会でのパトロールの実施のため、今後安全安心まちづくりの醸成の機運を高める必要がある。(34町会・自治会のうち27団体実施)																			
6	安全安心まちづくり課	各種防犯活動	10月	補・参	1,203	防犯協会、ボランティア	実	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 4 4	3 3 3 3	5 5 5 5 5 5	3 5 4 3 5 4	5 5 4 5 5 4	4.3	登録者 1,055軒									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	全国地域安全運動に伴い、福生警察署管内古物商防犯協力が行う「地域安全自動車防犯パレード」に参加した。	課題																				
7	安全安心まちづくり課	子ども110番の家	4月～3月	参	105	市民参加	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 4 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	4 4 3 4 4 4	4.7	登録者 1,055軒										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	子供が身の危険を感じたときに、助けを求めることの出来る緊急避難場所として民家や商店等を指定し、子どもを犯罪から守る。	課題																				
8	安全安心まちづくり課	交通安全推進指導委託	4月～3月	委	7,884	交通安全推進委員会、町会・自治会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0	交通安全推進委員 101名										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	福生市交通安全推進委員会、福生市町会長協議会へ交通安全の推進を委託し、更なる交通事故の減少を図る。	課題																				
9	安全安心まちづくり課	自主防災組織の運営	4月～3月	補	5,687	自主防災組織	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 4 5 5	5 5 5 5	4 4 5 5 5 5	5 5 4 5 4 4	4.8	市内設置数6基										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	34地区の自主防災組織に対し、組織の円滑な運営のために必要な補助金の交付を行い、災害時等の意識の高揚を図る。	課題																				
10	安全安心まちづくり課	避難誘導標識の設置と維持管理	4月～3月	委	0	NPO法人 都市環境標識協会	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	4.9	市内設置数6基										
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	避難誘導標識等の設置及び維持管理等を、民間企業等の地域貢献の協賛金などを活用することにより、市の費用負担なしで設置及び維持管理する。	課題																				
11	シティセールス推進課	自由広場フリーマーケット	4月～3月	委	200	自由広場フリーマーケット実行委員会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 5 3 4 4 3	4 4 4 3	4 4 4 4 4 3	5 4 4 4 4 4	4.1	全4回 253店 来場者3,414人										
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	自立した消費者の育成を図るため、市民及び民間団体を主体とした実行委員会に委託し行った。	課題																				

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点	
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4:よかった	5:よかった	4:よかった	5:よかった	4:よかった	5:よかった	4:よかった	5:よかった			
12	消費者展・講演会・セミナー	4月～3月	委・実	50	消費者展実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	4	4	4.7	
					協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	消費者の啓発を図るため、消費者リーダーとの協働で、消費者セミナー、消費者展等の企画・立案をし、当日の運営にあたった。	課題																	
13	福生七夕まつり	8月	委・実	30,815	七夕まつり実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4.1	人出 423,600人	
					協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	実行委員会のもと、飾りつけ部会、模擬店部会、イベント部会が中心となり、ボランティア・市民を巻き込んだ形で実施した。	課題																	
14	ふっさ桜まつり(東日本大震災の影響により中止)	中止	補・実	2,141	桜まつり実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y															
					協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	東日本大震災の影響により中止	課題																	
15	市民農園管理(家庭菜園管理)	4月～3月	共	504	市民農園使用者協力会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4.4		
					協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	市内7箇所の市民農園を、2年間を期間として貸出し、運営を使用者の団体である協力が会が行う。	課題																	
16	ほたる祭	6月	補	1,400	熊牛町会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	人出 45,000人	
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	毎年6月中旬に行われる「ほたる祭」に対して、財政援助により支援をする。	課題																	
17	剪定枝等破砕機管理委託	4月～3月	委	35	グリーンクラブ福生	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	4	5	5	3	4.5	貸出し実績 4件	
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	剪定枝等破砕機の貸出し、整備、保守点検等を委託し、市内農業者の農業活動に役立てる。	課題																	
18	環境フェスティバル委託	4月～3月	委・実・参	1,100	福生環境フェスティバル実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	4	5	5	5	4	5	5	4.6	出店団体数:39団体 来場者数:3,700人		
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	環境月間の6月に多摩川中央公園を会場に、地球環境、自然環境へのふれあいをテーマにした市民参加型イベントを企画し開催。	課題	市民の自主的、主体的な運営を目指し、分科会を設立、会議を行ってきたが、企画から実施への方法が見え辛いようで、事務局主導である状況は改善する必要がある。																
19	水辺の楽校運営委託	4月～3月	委・実	1,400	水辺の楽校運営協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	3	4	4	2	4	3	3	4	5	4	4	3.7	多摩川で遊ぼう 12回実施		
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに基づき、多摩川の水辺で子どもたちのための自然体験の場、遊び場を作る。	課題	年齢の低い子どもの増加に対して、対応が不十分。																
20	市民環境大学運営委託	4月～1月	委	590	NPO法人自然環境アカデミー	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	4	5	5	5	5	5	4	5	4.8	6回実施		
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	「市民環境大学」事業は、市民が環境問題を学習する機会として実施。毎年テーマを決める。	課題	参加者の自立性をどのように育てるか。																
21	福生スクラムマイナス50%事業	4月～3月	実	0	チームスクラムマイナス50%協議会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	4	3	4	4	3	4	4	3	3.7	緑のカーテンコンテスト 応募10組		
					協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	2030年までに、市内から排出される二酸化炭素を50%削減(2004年比)するという目標を達成する。	課題	協議会のメンバーが多忙な方々であり、緊急的に動かなければならない事案が発生した場合などに、小回りが利かないと感ずることがある。																
22	かんきょう通信編集会議	4月～3月	参	0	かんきょう通信市民編集委員	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	4	3	4	3	3	4	4	5	4	5	4	3	3.8	2回発行	
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	市民への環境に対する意識啓発及び環境事業等のPR。	課題	編集員の人数が少ない。																
23	環境学習教員研修	8月	参	51	市民・NPO法人自然環境アカデミー	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	5	5	5	5	4	5	4	4	4.6	参加人数27名		
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	新規教員及び2年目の教員を対象とした環境研修。福生の環境について学ぶことで、子どもたちへの環境学習を推進する。	課題																	
24	地域猫制度	4月～3月	補・共	700	福生地域ネコの会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4.2	10地区 71匹	
					協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	地域、ボランティア団体、行政の協働で、飼い主のいない猫対策を実施。	課題	モデル地区が増えていかない。多くのボランティアやサポーターが必要である。																

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた										
25	環境課	福生キャンドルナイト実行委員会	9月～3月	実	0	福生キャンドルナイト実行委員会	企行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	来場者数600人									
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	2008年夏至に、それぞれが電気を消すことで「福生全体で環境に良い夜にしよう!」と始まった。電気を消すだけでない様々な環境に良い事に福生のみならず取り組むことを目指す。		課題	23年度は実行委員会委員を公募しなかったこと。																
26	環境課	廃棄物減量等の推進	4月～3月	実	720	廃棄物減量等推進員	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4	4.0 4.0											
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	廃棄物減量等推進員と協働して、廃棄物の減量を推進していく。		課題																	
27	環境課	環境マネジメントシステム市民監査委員	4月～3月	参	133	市民監査委員	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 5 5 4 4 4	5 5 5 4 4 4	4 5 5 4 4 4	5 5 4 4 4 4	5 4 5 4 4 4	4 4 5 4 4 4	4.7 4.1	市民監査委員 13名								
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	環境マネジメントシステム LAS-E の運用状況について、市民が直接各職場に立ち入って監査を実施する。		課題	市民監査委員の中での評価の基準が統一されていなかった。																
28	環境課	花いっぱい運動	4月～3月	委・参	702	ふっさ花とみどりの会	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 3 3 5 5 5	3 5 5 5 5 5	3 5 5 5 5 5	3 4 5 5 5 5	4 4 4 5 5 5	4 4 4 5 5 5	3.8 5.0									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	街角、通学路、公園、広場等に、花の苗の植栽を行い、緑化と美化を進める配布型花いっぱい運動に加えて、やなぎ通り110箇所のプランター、国道16号線53箇所の植樹ますなどに植栽し、その管理運営を市民との協働で実施。		課題	会員のほとんどが65歳以上であり、若い会員の加入が必要。																
29	協働推進課	男女共同参画情報誌作成	4月～3月	委・参	1,204	NPO法人NAFA子育て環境支援センター・市民編集員	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 4 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 4.9	3回発行 各回28,500部								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援 団体の特性を活かす		事業の概要	男女共同参画情報誌「あなたとわたし」を市、市民編集員、NPO法人との協働により作成。		課題	原稿の確認などの情報共有が必要。編集員が少数のため一人の負担が多くなってしまう。																
30	協働推進課	男女共同参画啓発物作成	4月～3月	参	0	市民活動団体	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	成人式でのチラシ配布 427人											
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	デートDVIに関する啓発チラシを若い世代に理解してもらうため、市民活動団体との協働により、チラシを作成し、新成人への配布や公共施設で配布し啓発を図る。		課題	次年度の成人式に向け内容の再確認をしたい。																
31	協働推進課	福東会館管理業務委託	4月～3月	委	3,002	福東町会	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0												
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域会館として利用される福東会館の管理を地域の町会に委託して行う。		課題	特になし。																
32	協働推進課	福東会館清掃委託	4月～3月	委	260	NPO法人 青少年自立援助センター	企相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0												
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域会館として利用される福東会館の清掃管理をひきこりの青年を支援するNPO法人に委託して行う。		課題																	
33	協働推進課	市民活動推進事業委託	7月～3月	委	200	NPO法人 ワークスコープ	企行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 4 5 4 4	4.9 4.9	3回実施 28人参加												
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民活動団体を育成するため、輝き市民サポートセンターで行う一部の事業の企画・実施を市民活動団体に委託する。		課題	講座の参加者を今後どのように市民活動と結びつけていくか。																
34	協働推進課	市民活動団体事業支援補助事業	5月～3月	補	242	市民活動団体	企行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0												
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	新しい視点や柔軟な発想にもとづき、市民活動団体が自発的に行う公益的な事業の事業費の一部を補助する。		課題	市民活動団体の多くが、活動資金や会員の確保という点で問題を抱えており、活動領域の拡大に苦慮している。																
35	協働推進課	地域コミュニティ活性化の推進	4月～3月	補	570	福生市町会長協議会	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 4 4 5 4 4	4.8 4.8													
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	町会長協議会と協働で、市民全体を対象に、地域との連携を深め、地域コミュニティの活性化を図る。		課題	地域活性化を図るため、地域活動(防災・防犯、町内美化、親睦等)を行っているが、加入率の低下により財政面で苦しんでおり、自主的な地域活動に影響することがある。																
36	障害福祉課	精神障害者グループホーム補助金	4月～3月	補	2,406	NPO法人グループホームけやき	実行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	4 4 4 5 5 5	4 4 5 4 4 5	4 4 4 4 5 4	4 4 4 4 5 4	4.4 4.7										
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	NPO法人グループホームけやきに対し、その運営費の一部を補助することにより、精神障害者の地域社会における生活の場を確保し、自立と社会参加を促進する。		課題																	



No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① 事業の目的・目標を共有できたか	② 事業開始にあたって相互の役割を話し合ったか	③ 画等な立場で協力して計画づくりを進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にし共通認識を固めたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況をチェックし、必要に応じて修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点
49	子ども育成課	子育てシンポジウム	5月	委	83,935	NPO法人ワーカーズコープ	実行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	第3回「子育てシンポジウム」基調講演とパネルディスカッションにより、福生の子どもの今、そして今後について考える。					課題	参加者は事業関係者が多数を占め、一般参加者(子育て世代の保護者等)が少なかった。内容が難しすぎた感がある。													
50	子育て支援課	保育団体連絡会の開催	4月～3月	共	28	社会福祉協議会、保育園、幼稚園、子育てサークル、子育てボランティア団体	企行他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4.8	講演会173名参加		
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域組織化事業の一環として、各団体の情報交換や支援方法の検討を定例会(2回実施)で行い、「見つめよう、私の子育て」をテーマとした講演会を実施した。					課題														
51	まちづくり計画課	景観づくりの取組み	4月～3月	共	0	まちづくり景観推進連絡会	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4.3	推進連絡会全11回開催		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	まちづくり景観推進連絡会と市が協働して、福生市全体の景観まちづくりを考え、歴史ある景観を保全している。					課題	市:連絡会会議の出席率が上がらない。 団体:目標とした宿橋通りの改善にたどり着くまで時間がかかった。													
52	施設課	屋外違反広告物撤去	4月～3月	参	0	町会、市民団体	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	31団体 255名登録		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路上の屋外違反広告物の撤去作業を、市民と市が協働で活動することにより、市道の適正な管理に努めていく。					課題														
53	施設課	道路美化ボランティア	4月～3月	参	0	市民団体	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	15団体 143人のボランティア会員		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路への美観風致を維持し、歩行空間の確保及び良好な維持・向上を図るため、市民と市が協働で活動し、市道の適正な管理に努める。					課題	ボランティアの道路内作業に於ける交通安全上の問題が危惧される。													
54	施設課	萌芽会活動	4月～3月	参	0	福生萌芽会	企行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	会員数23名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市内の豊かな生態系の雑木林の再生を目指して、ワークショップ方式による市民参加型のボランティアにより、萌芽更新を実施する。					課題	萌芽会ボランティアメンバーの世代交代、萌芽更新継承者の開拓。													
55	施設課	公園ボランティア制度	4月～3月	参	0	ボランティア	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	個人342名 6団体登録		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公園ボランティアが行う公園内の環境美化活動を推進する。					課題	市が取りまとめ等を行い、自主的な公園ボランティアの取組みが行われる工夫が必要。													
56	選挙管理委員会事務局	選挙啓発誌「白ばら」企画編集	8月～11月	共	313	明るい選挙推進協議会	企他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	発行回数年1回、編集会議3回		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	年度中における選挙終了後、啓発誌「白バラ」を年一回発行する。					課題														
57	選挙管理委員会事務局	投票啓発	4月～3月	共	188	明るい選挙推進協議会	企他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	成人式会場での常時啓発と、駅頭等やのぼり旗の掲出及び市内全域を広報車による選挙時啓発を実施。					課題														
58	教育委員会庶務課	校舎・校庭の軽易な修繕	4月～3月	参	334	PTA・市民	企他	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3.8	児童・生徒1621名 保護者256名 市民41名 教職員138名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域清掃活動・校内美化、施設の修繕を実施し、教育環境の向上を図るとともに、児童・生徒に物の大切さを教える。					課題														
59	指導室	アドバイザースタッフ	4月～3月	委	268	市民・大学生((社)学術・文化・産業ネットワーク多摩)	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3.3			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	教育相談室、学校及び家庭における生徒等に対する話し相手、遊び相手としての援助、その他教育相談のために必要なことを行う。					課題	大学連携においては、活動してくれる学生の数が少なく、各学校からの要望に応じられなかった。													
60	指導室	学校ボランティア	4月～3月	参	0	地域の市民、保護者	実行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	3	3	4	3	3	3	3.3			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	学校支援のために、様々なボランティア活動をして、地域に根付いた学校づくりを進める。					課題	学校ごとに内容を決めているので、全体の進捗状況がなかなか把握できない。													
61	指導室	学習指導市民講師	4月～3月	委	243	市民、NPO	企行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3.9			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域の人材を活用した学習指導講師					課題	現在、小学校においては総合的な学習の時間を中心に、中学校においては教科・課外学習で活用している。新学習指導要領の改定により、授業時間数が増えるので、各学校での有効な活用方法の検討が必要となる。													

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて													事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点			
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた	5:できなかった 5:ある程度できた					
62	成人式の開催	9月～1月	実・参	1,411	成人式実行委員会 市民ボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	新成人実行委員 12名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	「成人式式典」及び「成人のつどい」を、教育委員会と新成人による成人式実行委員会、市民ボランティアとの協働により実施する。													課題	実行委員で実際に動ける委員が限られてしまうため、一人ひとりの負担が大きかった。						
63	地域まなびあいボランティア	4月～3月	参	6	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.7	登録者 26人(団体含む)		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	新たに地域で行事を計画している方、または町会・自治会・子ども会等地域で活動している団体に、教育委員会に登録している講師や指導員を派遣する。													課題	登録者の減少、高齢化						
64	ふっさ輝きフェスティバルの開催 (東日本大震災の影響により中止)	中止	補・実		青少年育成地区委員長会	企	行	行政評価	Y	Y	Y																
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	東日本大震災の影響により中止													課題							
65	軽スポーツ・とん汁会の開催	9月～11月	後・補	1,800	青少年育成地区委員長会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.8			
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。													課題	とん汁にお客が集まり、待たせることが多くなってしまった。						
66	ふっさっ子の広場事業	4月～3月	参	56,211	市民	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	359人(7校)登録		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	放課後、学校施設を活用し、安全な見守りのもとで、子どもたち同士や地域の人々との交流を通じ児童の健全育成を図る。													課題	各「ふっさっ子の広場」により、ボランティアに来てくれる人数・内容に差がある。						
67	青少年海外派遣事業派遣生事前研修	5月～7月	参	8,157	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	練習3回(1回2時間) 海外派遣生12名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	海外派遣事業でアメリカに行った際に、相互の文化交流の一環として、日本の文化紹介のために踊りを披露する。そのための練習を行うに当たり指導いただく。													課題	派遣生にとって踊りのなじみがないのか、うまく踊れない人が出てしまった。						
68	学校支援地域組織事業	4月～3月	参	998	学校支援サポーター	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	サポーター数 29人		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	各学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校と支援者である学校支援サポーターとの連絡調整をして、学校のニーズと地域の力をつなぎ合わせコーディネートしていく。													課題	学校支援地域組織事業が周知されていない。						
69	文化財保護思想の普及事業	4月～4月	参	0	市民	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	4	4	5	5	5	5	5	4	4.6			
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	郷土資料室における、子ども向け体験学習の補助。市内の小中学生に地域の歴史や昔の遊びなどを伝える。													課題	一人の方に参加してもらっていたが、就職のため辞められた。現在欠員である。						
70	ウォーキング事業	4月～3月	参	51	ウォーキング・タートルズ	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回実施		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	市民の健康増進と市民同士の交流を目的として、年3回のウォーキング事業を実施する。													課題							
71	市民総合体育大会運営	5月～3月	委	1,834	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	30種目 6,610人参加		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	市民総合体育大会の各競技大会運営並びに関連する事務を福生市体育協会に委託し開催する。													課題							
72	中央体育館の運営	4月～3月	委	26,910	NPO法人 福生市体育協会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	実施事業数32 延べ利用者数117,686人		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	受付業務、館内巡回、事業、管理運営の一部													課題							
73	健康増進・スポーツ普及事業	4月～3月	委	6,000	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	30回開催 521人参加		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	健康増進・スポーツ普及事業の企画・立案(高齢者筋力向上トレーニング教室計画・実施)													課題	継続を求める声があるが、補助金が平成23年度最終となる。						
74	各種大会派遣	4月～3月	委	787	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	4大会 27種目 336人派遣		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	都民体育大会ほか開催時の選手派遣及びそれに伴う業務全般。													課題							

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 対等な立場を進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況を確認したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	
75	スポーツ振興課	福東グランドトイレ清掃	4月～3月	参	0	ボランティア	企 相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0									
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	福東第一・第二少年野球場に併設しているトイレを利用団体の申し入れにより、自主的に清掃している。						課題											
76	公民館	公民館のつどい	4月～11月	実	30	公民館のつどい実行委員会	企 行相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 5 5	4 4 4 5 5 5	5 4 4 5 5 4	4 4 5 4 4 5	4 4 4 5 5 4	4 4 4 5 5 4	4 4 4 5 5 4	4.2 4.8							
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	①出会い、知り合い、交流していくために、分野を越えた交流の場にする。②公民館で活動することの意味を考える。③活動し、交流しあう中で、生活や地域の課題を考える。④つどいが、ひとつのきっかけとなって、後に横につながりあえる場を持ち続ける。						課題	各実行委員会において、限られた時間の中でいかに議論を積み上げ結論へと導いていくか。参加者それぞれのモチベーションをいかにあげていくか。今回の反省点をいかに一人ひとりが意識し、次年度の実施に向けて前向きに取り組むか。										
77		本館まつり	4月～7月	実	200	本館まつり実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 3 5 5 5 5	4 4 4 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	4.8 5.0	参加者人数 3,242人						
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	自主団体を中心とした実行委員会が、進行や記録づくり、各部門の進捗状況の確認を行い、職員は事務局として様々な調整を行った。						課題	団体が多く集まりすぎても、運営が難しく、少なすぎても運営が難しい。										
78		第29回市民音楽祭(東日本大震災の影響により中止)	中止	共		福生市音楽愛好者連絡会	企 行相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y															
		協働理由				事業の概要	東日本大震災の影響により中止						課題											
79		本館利用者研修会	10月～3月	共	25	公民館本館利用者連絡会	企 行相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 5 5	4 4 4 5 5 5	5 4 4 5 5 4	4 4 5 5 4 4	4 4 4 5 4 4	4 4 4 5 4 4	4 4 4 5 4 4	4.3 4.8	45人参加						
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	社会教育や公民館についての理解を深めるため、研修会を実施する。						課題	参加者がいかに自分たちの活動に引き付けて、学習していけるか。										
80	市民文化教室	7月～1月	共	300	福生市文化協会	企 行相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 5 5 4 5 5	5 5 5 4 5 5	5 4 4 4 5 4	4 4 4 4 4 4	5 4 4 5 4 3	4 4 4 4 3 4	4.4 4.3	参加者人数 978人								
	協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	市民の文化活動への要求に応え、個々の創造的感性を養い、地域での人と人のつながりを得る契機とし、豊で活力ある日常生活の実現と地域文化の向上を目指し実施する。						課題	コースによっては参加者が少なく、全体的には若い世代の参加者が少ない。											
81	公民館講座等学級教室講座講師(これってDV?)	3月	共	150	サークル彩	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 4 4	4 4 5 4 4 5	4 5 4 4 5 4	5 4 4 5 4 4	5 5 5 5 5 5	4.6 4.6										
	協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	公民館サークルである「サークル彩」との共催事業として「パープルリボン」運動を通して、日常生活の中に潜んでいるDVの危険性やその背景を学び人権感覚を身につけることを目的に実施した。						課題	「パープルリボン」という言葉が、まだよく知られていない段階で実施したため、何の講座なのか分かりづらいところがあった。											
82	市民文化祭の開催	4月～12月	実	3,942	福生市文化祭実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	5 4 4 5 4 4	5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5	4.9 4.9	参加者数 260人									
	協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	市内で行われている文化活動の成果を発表する機会を提供し、市民文化の向上と、潤いのある市民生活の実現に寄与する。						課題	事前に申請している内容と違うこと(追加も含め)を公演日・展示日に言われ対応に苦慮した。											
83	主催事業(お話し会・お楽しみ会)	4月～3月	共	0	ポケット☆ポケット、おはなしのもり、おかし座	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 4 4 4	5.0 4.0	おはなし会実施回数49回													
	協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	月1回開催している「小学生・乳幼児向けおはなし会」や影絵劇などをボランティアグループ、影絵サークルとの協働で実施している。						課題	新規ボランティアの拡充											
84	図書館おはなし会「ぶっくん」	6月	共	0	おはなしのもり	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 4 4 4	5.0 4.0	7回実施 405人参加													
	協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	子どもたちが本に親しみ、読書の普及を図るため、小学校へ訪問し1年生を対象に「お話し会」「お楽しみ会」をボランティアと協働で実施。						課題	ボランティアメンバーの拡充。おはなしの技術向上。(相手側)											
85	図書の配架、清掃	4月～3月	参	0	市民個人ボランティア	実 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5.0 4.8	書架整理 233回 花植え2回													
	協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	市民の図書館を目指し、より開かれた図書館を実現するパートナーとして図書館業務の補助、館外美化活動を実施する。						課題												
86	ヤングアダルト図書会議	4月～3月	参	0	中高生	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	年3回発行 11名登録													
	協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	市内の中学生、高校生ボランティアの編集により、PR新聞を発行し、市内の各図書館、各中学校図書室等で配布する。						課題	編集スタッフの募集に苦慮している。											